

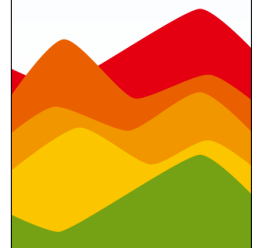


す が お

No.30

養護老人ホーム
松楓園 情報誌

敬老によせて



本日は敬老の日おめでと
う御座います。

今年の春先に、メキシコ
やアメリカで新型インフル
エンザが発生したと騒が
れ、日本政府も直ぐに対応
しましたが、今も大流行の
兆しが衰えておりません。
感染を拡大させないために
は、「咳(せき)エチケット」
と「手洗い」が重要です。
一人一人が「感染を広げな
い」という心がけが大切だ
と思います。

さて、国立社会保障・人
口問題研究所の推計により
ますと、16年後の202
5年には、約680万人の、
いわゆる1947年から4
9年生まれの戦後のベビー
ブーマー、団塊の世代が7

5歳以上の高齢者に到達し
ます。

その時の日本の総人口が1
億1927万人で75歳以
上の高齢者は、現在の1、
6倍の2167万人、全体
の18%に成るとみられて
います。

2007年度の国民生活
基礎調査によりますと、一
人暮らしと夫婦のみの世
帯、高齢者と未婚の子のみ
の世帯が、高齢者世帯の7
0%を占めており、その一
方で、3世代同居家族は1
8%に過ぎないそうです。
このことから、在宅高齢
者の介護力は乏しい状況が
わかります。一方では、介
護保険の訪問サービスは一
日の生活を支えるには不十

分で、この制度は家族介護
者がいることが前提になっ
ています。

それでは、重度になれば介
護保険施設に入所出来るか
という、自己負担額の重
さや施設数の不足がハード
ルになっており、行き場の
無い高齢者が増えてきてい
ます。

本年3月に都内の生活保
護受給者6名を含む10人
の方が、群馬県渋川市に在
る施設の火災事故で亡くな
りました。

この火災から、在宅介護が
困難な低所得の高齢者が入
居する施設の実態や、生活
状況を十分に把握できてい
ない一方で、こうした生活
の場が不足している深刻な
実態も浮き彫りになりました。

松楓園は平成18年4月か
ら、いわゆる措置制度のま
ま新型養護老人ホームとな

り、社会復帰の促進、自立の為の指導・訓練を行なう「中間施設」として位置づけられました。

自立度の高い利用者への支援を想定した制度なので、直接介護に当たる職員の割合は減ったばかりですが、今後養護老人ホームでも、今まで以上に、こういった方々を受け入れる為の制度的再検討がなされるものと思われます。

このような厳しい環境に置かれている今こそ、皆様の個々の人格・意思を尊重し、職員の資質の向上やサービスの改善などを図ると共に、自らが誇りの持てる施設作りに励みますので、今後益々のご支援、ご協力をお願いいたします。

松楓園施設長
馬場義郎



二十一年度 敬老祝賀会



九月十八日に一足早い敬老祝賀会を行いました。当日は、利用者のご家族十一名の参加を頂き、一緒にお食事を召し上がって頂きながら、利用者の方々の長寿と健康をお祝いし、ひと時を過ごしました。

席上、高齢者表彰を行いました。今年度は米寿の方五名・卒寿の方五名・九十一歳の方二名の表彰を行いました。その後、九十一歳以上の方のご紹介もさせて頂きました。松楓園には、明治生まれの方が一名いらつしやうり、明治四十五年生まれ・九十七歳の方が最高齢となつて居ります。

また、長年に亘り書道の講師をして頂いている西野明子先生に感謝の気持ちを込めて、感謝状をお贈り致しました。

今年度は、利用者の方々の日常生活の様子を写真にし、お祝いの気持ちを込めて、祝宴時に皆様にお渡しさせて頂きました。

また、八王子市で活躍されている「武州今熊太鼓一座」の皆さんに祝賀太鼓を披露して頂き、利用者の方々も大変感激されました。

これからも末永く松楓園での生活が安心して送られるように職員一同支援サービスに努めさせていただきます。

敬老週間 映画会



敬老をお祝いし、敬老週間を設け、九月十四日に映画会を行い、オールウエーズを上映しました。今では懐かしい、昭和三十年代、日本中が高度成長し、夢のような時代の東京下町の人情味あふれる映画でした。

「テレビ、冷蔵庫が普及し始めた時には何歳だったかしら?」「昔は隣近所、心が通っていた」「良い時代だったなあ」と昔を懐かしみ映画を見ながら、涙していた人も多く見られました。

敬老週間 野点



九月九日、茶道クラブ講師の加藤先生、田中先生、お弟子さんの総勢九人の来園を頂き、お茶会を実施しました。部員の方のお点前の披露もあり、活動の発表の場にもなりました。当日は、七五名の利用者様のご参加がありました。作法が出来ないなど最初は尻込みしていましたが、静寂な雰囲気の中、始めて茶道に触れお点前の所作に時間を忘れ見届けている光景は普段の表情とは違っていました。



敬老週間 展示



松楓園では毎年敬老祝賀会の時に日常生活で活動しているGW手工芸・書道クラブ・華道クラブの作品を展示させて頂いて居ります。GW手工芸ではミニうちわ・小物入れ・クリスマスツリー・押し花を使ったしおりを作りました。「こーやって飾って皆さんに見てもらえると嬉しいです。」「上手く作れて良かった。」との感想も聞かれました。書道クラブでは参加されている利用者様が書かれた書を個々の綴りにまとめ、展示させて頂きました。「書道クラブの人達の作品はいつ見ても上手ですね。」「展示して貰うと、気合が入ります」との声も聞かれました。

華道クラブでは先生の指導のもと利用者様が活けた花を飾らせて頂きました。敬老祝賀会に参加いただいた利用者の家族からは「いろいろな活動をしているのですね」とのお声を頂きました。これからもいろいろな活動を行って行きたいと思っています。



高齢者表彰



九十一歳 二名

嵯峨辰巳様

(二十一年六月入園)

浜島久恵様

(二十年十一月入園)

九十歳(卒寿) 五名

藻淵方子様

渡辺昇様

神田澄子様

高林サダ様

菅野七郎様

八十八歳(米寿) 五名

小林實様

増田志づ様

柴野ツル子様

松田勇次郎様

村木文様

九十一歳以上

三名の方のご紹介

高橋千代様(九十三歳)

大川愛子様(九十二歳)

最高齢者

永田しげ様(九十七歳)

おめでとうございます



敬老祝賀会にて、十二名の方の表彰と三名の方のご紹介をさせて頂き、表彰者の方へは個々に記念品を贈らせて頂きました。季節はこれから寒くなりますが、お身体を大切に。来年、再来年と皆様が元気に敬老祝賀会へ参加できますようお願いさせていただきます。

菅生町内会 正勝神社秋祭り

お神輿来園



九月二十七日に地元菅生のおみこしが来園しました。セイヤツ・セイヤツの掛け声にドキドキしながら待っている、みこしが見え、利用者の皆様から拍手が上がり、地元の方と共に掛声を掛け、大変盛り上がりました。利用者様からは「毎年みこしが来るのを楽しみにしているんです」「みこしを見ると、元気を貰える様な気がする」などの声も聞かれました。子供みこしの来園もあり、半被姿がとても可愛いかったです。また、みこしと一緒に、おかめ・ひよつこも来園し、踊りを見ながら賑やかな、ひと時を過ごしました。



2009年 利用者一泊旅行 今年は西伊豆方面!



期待を胸に



毎年恒例の「松楓園 秋の一泊旅行」に行って来ました。旅行は利用者の方々から大人気で、何日も前から旅行の話で持ち切りとなりました。旅の行程や見学地のポスターを貼り出した前に集まり、「今年はお土産をたくさん買って来たいわ」「海のすぐ側だから、きつと美味しい刺身が食べ放題よ」なんて会話を耳にすると、それだけで楽しい気持ちになっていきます。

待ちに待った、今年の旅行は西伊豆方面、美味しい海の幸に期待を膨らませ、いざ出発!



青空に恵まれ、富士山にも見え、海辺の散歩も満喫する事ができました

天気予報は雨、分厚い雲に覆われ、雨もぼつぼつに覆われ、雨が降りだした。全員が天気を諦めていたのにバスガイドさんが、富士山を歌えば顔を出してくるわよ。なんて言い出し、

嬉々歌ってみました。ところがあると、歌っている最中に、みるみる雲が晴れてまさに秋晴れ、車中は歓声。バスガイドさんありがとうございます。

今年二十七名の方々に参加をしていただきました。旅行の楽しみは人それぞれですが、一人ひとりに素敵な思い出が出来たのであれば、幸いです。

旅行中に見せてくれた皆さんの素敵な笑顔を見ても忘れずに、より良いサービスの向上に努め、いつも皆さんの笑顔溢れる施設を目指して頑張っていきたいと思っております。



誕生日会



松楓園では、二か月に一度誕生日会を行っています。

誕生日会は、外で会食を楽しんで頂きます。事前に利用者の皆様からアンケートを取り、召し上がりたい物に合った場所を選びます。

利用者の皆様からは、「誕生日会の外での食事が楽しみ」この年でも祝ってもらえると嬉しい」とのお声を頂いております。

また、誕生日の後は、市内をドライブします。あきる野市は、自然も多くあり、季節の移り変わりを楽しみながらドライブする事が出来ます。

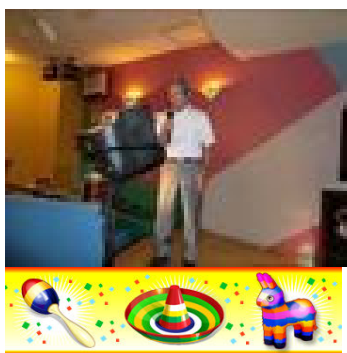


カラオケボックス



松楓園のカラオケクラブは毎週土曜日に活動しています。いつも十数名の方が参加され、それぞれののどに磨きをかけています。

先日、地域のカラオケボックスに行きました。ステージに上がり、歌を披露する姿は生き生きと力強く、とても輝いて見えました。いつもとは違う雰囲気の中で皆さんとても楽しまれているようでした。



感染症予防対策

インフルエンザ（新型を含む）の本格的な時期を迎えます。既にみな様もご存知のように、新型インフルエンザは今年4月の下旬頃、メキシコで発生。その後、世界中で爆発的に患者数を増やし、今もなお、感染拡大を認めているところがあります。日本でも、5月に成田空港で帰国者の感染確認をはじめ、神戸市で初の国内発症者を確認。東京八王子市では都民の患者を確認。6月には都内における接触者からの感染を確認。更に都内における感染拡大（集団発生開始）から地域での感染が拡大（集団発生拡大）し、現在あきる野市内においても、学校等で10クラスを超える学級閉鎖が実施されており、当法人・松楓園でも、感染症ウイルスを施設内に持ち込まないようにする事

を基本とし、感染症マニュアルに基づき、現状の情報収集、マスク・消毒液・医薬品の在庫確保。また、感染症予防に関する継続的な利用者への声かけ・ご協力の依頼、職員の健康管理・感染症への意識付け等を徹底し、感染症ウイルスを施設内に持ち込まぬよう、様々な検討及び実施を続けております。先月には、松楓園玄関の外に新たな蛇口を設置し、通院や買い物などの外出から戻られた時に、建物外で感染症予防の基本である「手洗い・うがい」を出来るよう整備し、新しい試みを開始しております。利用者と職員が一致団結をして、目に見えない敵に立ち向かうつもりです。



地上デジタル放送 2011年7月24日から、テレビ放送が地上デジタル放送に切り替わりまします。法務省は生活保護世帯などのうち、NHKの受信料が免除されている世帯を対象に、地デジ簡易チューナーの無料配布を実施するそうです。申し込みは10月1日にスタートとの事です。詳しくは法務省のホームページの特設サイトを開いて、ご確認をしてみても如何でしょうか。



ストレス



現代社会で避けては通れないもののひとつに「ストレス」があります。そもそもストレスとは、ボールに圧力がかかって、へこんだような状態の事で、人間関係や仕事の忙しさなど、様々な要因があります。

時間に追われ、ゆったりと生活することが出来な社会では、多くの人がストレスを強く感じ、ストレスを溜め込んでいるのではないのでしょうか。

しかし、ストレスにも良いストレスと悪いストレスがあり、良いストレスは心が鍛えられ、自分を奮い立たせてくれたり、勇気づけてくれたり、元気にしてくれたりする刺激を与えてくれます。

一方、悪いストレスは、身体に異常を引き起こし、精神的にもダメージを与えてきます。ストレスによって心身の大きなダメージを受けた際には、医師や専門家に早期の治療を受ける事が大切です。

避けては通れないのであれば、ストレスとは上手に付き合っていく必要があります。発散方法は沢山あり、お酒を飲みに行く、美味しいものを食べる、友達とおしゃべりを楽しむ、買い物をする、そして十分に睡眠と休養を取り、リラックスできる運動をするのも良いのではないのでしょうか。

ストレス社会を乗り切るには、ストレスに強くなる事です。嫌な事や悪い状況に陥つても、それをプラスに考え、前向きにストレスと向き合う事も大切ではないでしょうか。ストレスをコントロールして、健康な生活を送りたいものです。

職員施設内研修

十月五日、秋川病院 副院長 植田先生（医学博士・精神保健指定医）を迎え、精神

患者を抱えながらの生活を送っている利用者の方へ、不安・不穏を与えないような支援サービスを提供できるように、精神疾患患者への援助方法を分かり易く学ぶ事ができました。

また、職員自身のメンタルケアの取り組み方についても丁寧に教えていただくことが出来ました。

今回、学ばせていただいた内容を実践し、精神疾患を抱えている利用者の方々に、安心して生活できる環境を提供していきたいと思えます。



健康講座 口腔衛生



九月十六日に大橋歯科医院の大橋先生による口腔衛生の健康講座を開催して頂きました。

口腔衛生と健康との強い結びつきを勉強させていただき、口腔内を不潔にする事が、万病の元である事を学びました。

講座では、スクリーンに写真や絵を映し出していただき、利用者・職員共に分かり易く口腔衛生の重要性について理解する事ができました。

今後も、口腔衛生の重要性を認識した上で、利用者の方々の健康を守っていききたいと思います。

【編集後記】

園庭の木々の葉も鮮やかに色づき、利用者の皆さんの目を楽しませてくれています。

今号は節目の三十号を発行することができましたが、今後も皆様との情報の架け橋としての役割を担えるように、より紙面の充実を図っていききたいと思います。



発行者 社会福祉法人松楓会
養護老人ホーム松楓園
住所 東京都 あきる野市
菅生1159番地
電話 042-558-7010 (代)
<http://www.showhoen.jp/>